

保護者等からの 児童発達支援評価表の集計結果（公表）

公表：令和 5年 3月 20日

事業所名：鎌ヶ谷市こども発達センター

保護者数（児童数）31名 回収数23枚 割合74.193%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未 回答
1 環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	2		2	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	3		1	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23				
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	未 回答
2 適切な 支援の 提供	①	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画</u> が作成されているか	23				
	②	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	1		1	
	③	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21			2	
	④	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	4			
	⑤	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	5	3	5	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	未 回答
3 保護者 への説 明等	①	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	1			
	②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	23				
	③	保護者に対して家族支援プログラム（ <u>ペアレント・トレーニング</u> 等）が行われているか	18	2	1	2	

	④	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達 の状況、課題について共通理解ができているか	23				
	⑤	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援 が行われているか	23				
	⑥	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同 士の連携が支援されているか	11	7	2	3	
	⑦	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整 備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相 談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	3			
	⑧	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなさ れているか	22	1			
	⑨	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡 体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信されているか	19	1	1	2	
	⑩	個人情報の取扱いに十分注意されているか	23				
4		チェック項目	はい	どちらと もいえ ない	いいえ	わから ない	未 回答
非常 時等 の 対 応	①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニユアル 等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生 を想定した訓練が実施されているか	20			2	1
	②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓 練が行われているか	14	1		7	1
5		チェック項目	はい	どちらと もいえ ない	いいえ	わから ない	未 回答
満 足 度	①	子どもは通所を楽しみにしているか	19	3			1
	②	事業所の支援に満足しているか	21	1			1

1-③「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

2-①「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

2-④「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

3-③「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

保護者等からの 児童発達支援評価表の集計結果（公表）

頂いたご意見への回答

1 環境・体制整備	② 意見	<p>《職員の配置数や専門性は適切であるか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の内容によっては先生がもう一人いていただけたらと思う時があります。 ・常勤は主担任の先生1人のみ??なのでしょうか。
	回答	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置につきましては研修等で不在の場合もありますが、法令で必要とされる職員配置数は確保しております。ただ、戸外や室内での活動内容によっては安全性も考えて、通常よりも職員を増して療育を行っています。室内の活動に関しては、感染症対策を考慮した職員配置をしています。 ・のびのびルームは担任制で療育を行っていますので、担任間で連携はとりながら、保護者の方と一緒にお子様の様子を見守り、今後も療育に努めていきます。
2 適切な支援の提供	②	<p>《児童発達支援計画には・・・具体的な支援内容が設定されているか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りを元に、子どもの現状に合わせた支援内容を、かなり細かく考えてくださっていると。安心して困り事や希望を伝えることができる。
	回答	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も児童発達支援計画が保護者のニーズと子どもたちの目標に反映され、項目ごとに具体的な支援内容が設定されるよう、個々に応じた作成を心がけます。
	③	<p>《活動プログラムについて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わがママが通るなら、毎回えんぴつを使うなどのOT訓練があると嬉しいです。基本的には大満足です。いつもありがとうございます。
	回答	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の個別につきましては、毎回対応させていただくのは難しい状況にありますが、専門職と担任とで連携を図り、活動内容によって専門職が助言をするなど、療育の質の向上に努めてまいります。今後も一人ひとりの発達や特性を考慮し、お子さんが主体的に課題に取り組めるようプログラムを工夫し、提供していきます。
	⑤	<p>《保育所、幼稚園等の交流について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナなので仕方ない。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・交流保育に関しましては、当初春から定期的に行えるよう保育園と相談しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、実施を見合わせたり、保育園と相談し、回数は少なくなりましたが実施したこともありました。新型コロナウイルス感染症の対応に関しましては、国、県、市からの要請と相手方の保育園の意向もあり、中止となる場合もあります。今後も動向を見ながら交流保育の日程の調整を行い実施につきましては、参加の機会が増えるように予備日を設定する等、交流する保育園とも相談していきます。 	
	①	<p>《運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所人数が少ない為だと思いが、給食費が振り込みから引き落としになると有難い。
	回答	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の納付に関しましては、ご不便をおかけしており申し訳ありません。銀行と調整した結果、のびのびルームの在籍人数が少ないため、口座振替の対応ができないとの回答を得ています。ご理解いただきたいと思います。
	④	<p>《保護者との共通理解について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候不良などで活動変更があった時など今日は何をしたのか気になる時あります。

3 保護者への説明	回答	・今現在、翌日お返しする連絡帳には、活動内容の変更をお伝えしていますが、当日のお迎え時にもお伝えするようにしていきます。
	⑤	《定期的に、保護者に対して面談や助言等の支援が行われているか》 ・回数がかなり少ないので増やしてほしい。
	回答	・お子様に関するの悩みなど、いつでも面談することができますので、お声かけください。
	⑥	《保護者同士の連携支援について》 コロナなので仕方ない。他学年と接点ない。
	回答	・新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、思うように行事や保護者同士の連携が出来ない中、いろいろと工夫をして活動をしていただき、ありがとうございます。今後も活動するにあたり何かありましたら、ご相談していただけたらと思います。
	⑧	《子どもや保護者との医師の疎通や情報伝達のための配慮について》 ・親子登園時やれんらくちょう、ふせんメモ、直接の電話などとても嬉しいです。
	回答	・今後も引き続き、連絡帳やメモ、または電話でお伝えしていきます。
	⑩	《個人情報の取り扱いについて》 もっと不注意でもいいと思っちゃう。十分注意されています。
	回答	・保護者の方には行事等の写真撮影時にご協力頂きありがとうございます。今後も個人情報の取り扱いには職員一同細心の注意を払ってまいります。
	5 満足度	①
回答		・今後も子どもたちが楽しく過ごせるよう、職員一同努力してまいります。
②		《事業所の支援について》 ・子どもが園に受け入れてもらっている、子どもも先生たちを信頼していることが見ていて分かる。満足している。
回答		・今後も子どもたちが楽しく過ごせるよう、職員一同努力してまいります。

事業所職員からの 児童発達支援自己評価表の集計結果（公表）

公表：令和 5年 3月 20日

事業所名：鎌ヶ谷市こども発達センター

職員数 26名 回収数 23枚 割合 88.461%

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	わからない
1 環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	19	2	2	
	②	職員の配置数は適切であるか	9	7	5	2
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	1	5	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	2	2	1
2 業務改善	①	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	17	1	5	
	②	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	18		5	
	③	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	16	1	6	
	④	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	6	7	1
	⑤	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	20	1	2	
3 適切な支援の提供	①	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	20		3	
	②	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	18		5	
	③	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17		6	
	④	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20		3	
	⑤	活動プログラムの立案をチームで行っているか	19		4	
	⑥	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	18	1	4	
	⑦	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	18	2	3	
	⑧	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	19	1	3	
	⑨	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	17	1	4	1
	⑩	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	19	1	3	
	⑪	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	20		3	

4	関係機関や保護者との連携	①	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	18		5	
		②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	19		4	
		③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	19		4	
		④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	20		3	
		⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	20		3	
		⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	21		2	
		⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	15	3	5	
		⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20	1	2	
		⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	10	6	6	1
		⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	21		2	
		⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	15	3	5	
5	保護者への説明責任等	①	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	19		3	1
		②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	19		4	
		③	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	21		2	
		④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	21		2	
		⑤	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20		3	
		⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	19		4	
		⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	23			
		⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	21		2	
		⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	10	7	
6		①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	21		2	
		②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	21		2	
		③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	20		3	

非常時等の対応	④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	20		3	
	⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	20	1	1	1
	⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15	2	5	1
	⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	12	1	9	1